

意見書

次の四件の意見書が可決され、国及び道の関係機関に送付されました。

◆意見書第八号  
TPP協定の調印・批准しないことを求める意見書

TPP「大筋合意」の詳細の速やかな開示と協定の調印・批准を行わないことを求めたものです。

◆意見書第九号  
「北海道観光振興特別措置法」の早期制定を求める意見書

北海道の観光産業の振興が地域活性化の大きな柱であるとして、財政上、税制上の特別措置を盛り込んだ「北海道観光振興特別措置法」の早期制定を求めたものです。

◆意見書第十号  
医療等に係る消費税問題の抜本的解決を求める意見書

国民と医療機関に不合理な負担を生じさせている医療等に係る消費税問題の抜本的解決を求めたものです。

◆意見書第十二号  
道教委「高校教育に関する指針」の見直しと豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書

地域に高校を存続させ、希望するすべての子どもにゆたかな後期中等教育を保障していくことを求めたものです。

次の四件の意見書が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

◆意見書第七号  
南スーダンへの派遣自衛隊の撤収を求める意見書

◆意見書第十一号  
平成28年度北海道最低賃金改正等に関する意見書（千円をめぐす）

◆意見書第十二号  
義務教育費国庫負担制度堅持等、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充に向けた意見書

◆意見書第十四号  
地方財政の充実・強化を求める意見書

意見書案第八号についての賛成討論

渡邊 定之 議員

私は、議案第八号「TPP協定の調印・批准しないことを求める意見書」に賛成し討論を行います。安倍政権により、TPPの承認案と関連一括法案が閣議決定、国会提出をされました。TPPは「Xや牛肉などの農産物を含め関税を原則として撤廃、輸入を拡大することともに、食の安全、著作権、雇用、医療などあらゆる分野で多国籍大企業の利益を最大限に確保するため国民を犠牲にするルールを押し付けるものです。とりわけ「SD」条項は、環境、健康、地域経済などを守る国内ルールを一企業が「利潤拡大」を阻害したとして、国家、自治体を訴え、巨額の賠償金、制度改変を迫るといつ、まさに国家主権を売り渡す、反国民的協定と言わなければなりません。国民にも国会議員にすら情報開示せず、国会決議に違反した協定は国会の責任で批准を拒否し、関連一括法案も廃案にすべきであります。

今、農家だけでなく消費者の間にも不安と困惑が急速に広がっています。牛業が壊れ、地域が崩壊してしまつたTPP協定の調印・批准にストップをかけ、地域経済・農業と暮らしを守ることを願い、かつてオール北海道で反対したことを強く思い賛成討論とします。

平成28年第2回定例会賛否一覧

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	櫻井 一隆	後藤 勲	熊谷 善行	深見 迪	黒沼 俊幸	松下 哲也	川村多美男	渡邊 定之	鈴木 裕美	平川 昌昭	本多 耕平	菊地 誠道	館田 賢治	結果
議案等の内容														
議案第30号 標茶町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		原案否決
意見書案第7号 南スーダンへの派遣自衛隊の撤収を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第11号 平成28年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第12号 義務教育費国庫負担制度堅持等、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充に向けた意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第14号 地方財政の充実・強化を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×		原案否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません。)